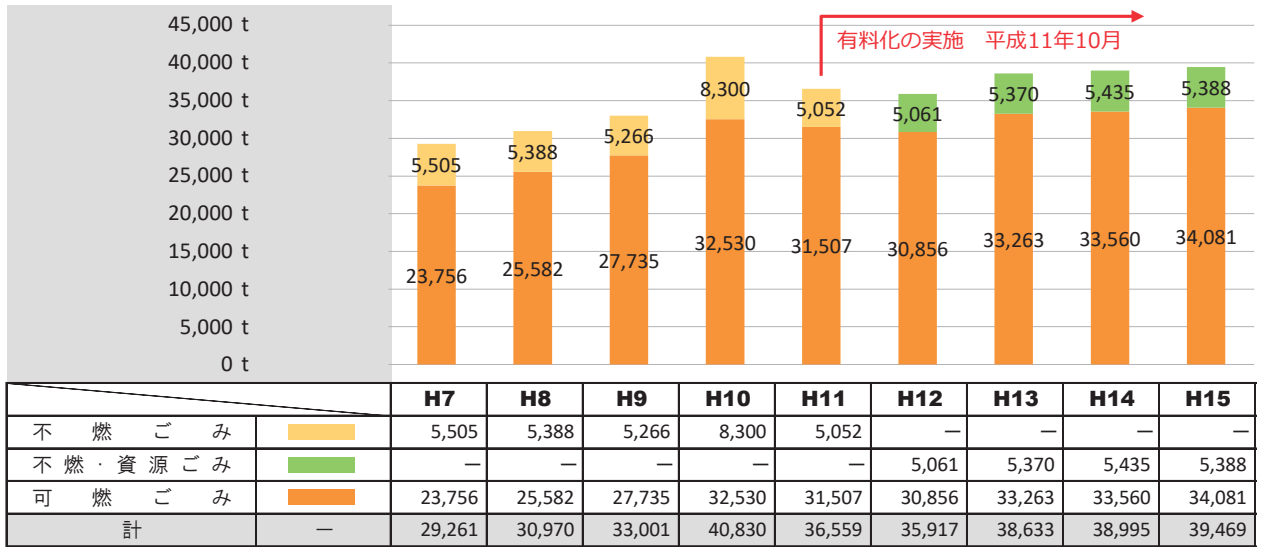


ごみ処理の状況と有料化の効果

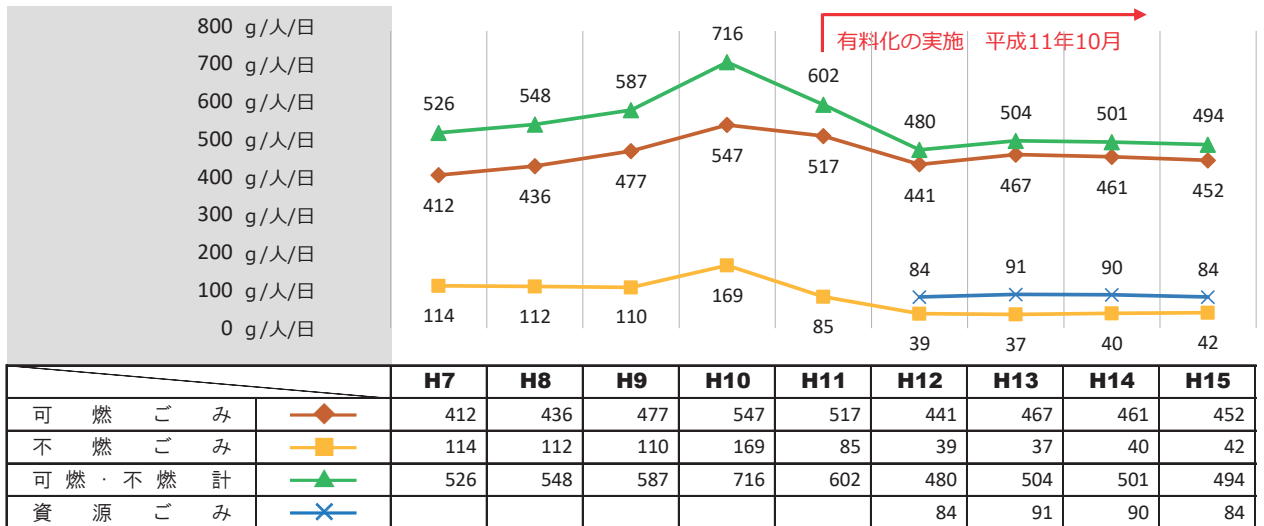
■ごみ排出量の推移（単位：t）

平成10年度までのごみ排出量は右肩上がり増加していましたが、平成11年10月からの家庭ごみの有料化に横ばいの状況にあります。



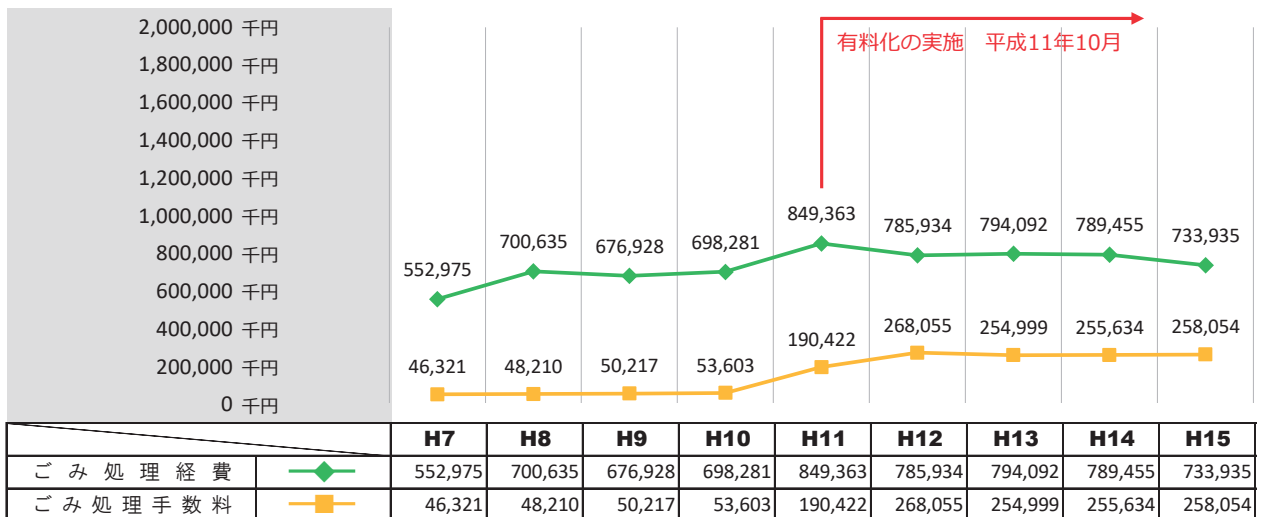
■住民1人1日あたりのごみ排出量（原単位：g/人/日）

平成11年10月から家庭ごみの燃えるごみ・燃えないごみの有料化を実施し、燃えるごみは最大で26%の減量



■ごみ処理経費とごみ処理手数料の推移（単位：千円）

平成7年に建設した、ごみの焼却施設（西白河地方クリーンセンター）等の経年劣化により、機械・電気設備等の手数料を含むのうち、住民の皆様にごみの排出量に応じ、燃えるごみ袋・燃えないごみ袋にて負担いただいた手数料



廃棄物制度のしくみ

3R活動への取り組み

ごみ処理の流れ

ごみ処理の現状と課題

ごみ処理の状況と有料化の効果

指定ごみ袋の種類と販売価格

資源とごみの分け方と出し方への案内

燃えるごみ

古紙類

紙製容器包装

衣類等

かん類・金属類

びん類

ペットボトル

プラスチック製容器包装

燃えないごみ

粗大ごみの処理のし方

廃家電品の処理のし方

農業空容器の回収案内

施設利用のご案内

その他の回収案内

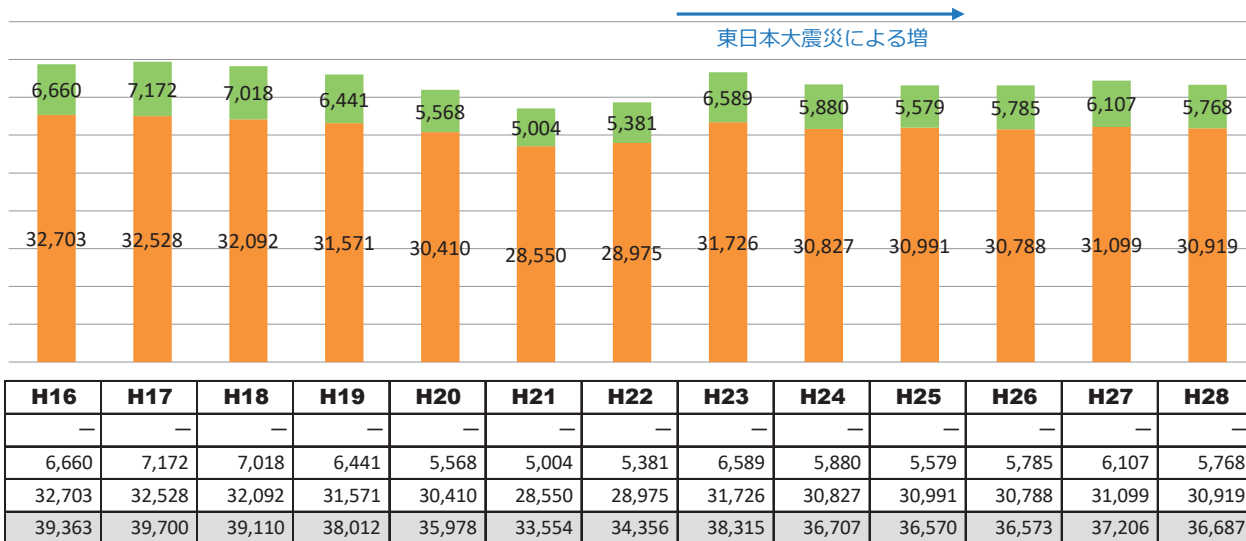
ごみ集積所に出せないもの・受入できないもの

よくある質問

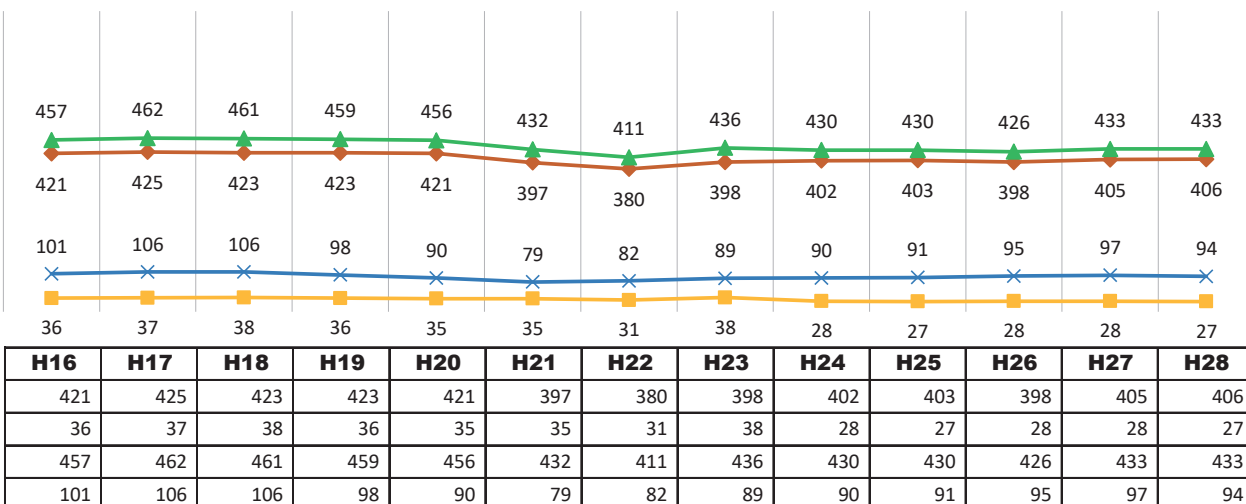
資源とごみの分別辞書

組合からのご案内

より減少傾向が続きましたが、平成23年に発生した東日本大震災の影響により、一時的に増加したものの、その後は【平成28年度における排出量の割合：家庭ごみ 24,404 t 67% 事業系ごみ 12,283 t 33%】



となり、資源ごみを無料扱いとしたことにより、ごみの分別促進が図られ、燃えないごみの排出量は減り続けています。



維持補修費は増加傾向になっています。平成28年度におけるごみ処理手数料 258,890千円（事業系ごみ処理料は 125,680千円で、1世帯あたりにすると1年間で約3,137円を直接負担いただいております。

